

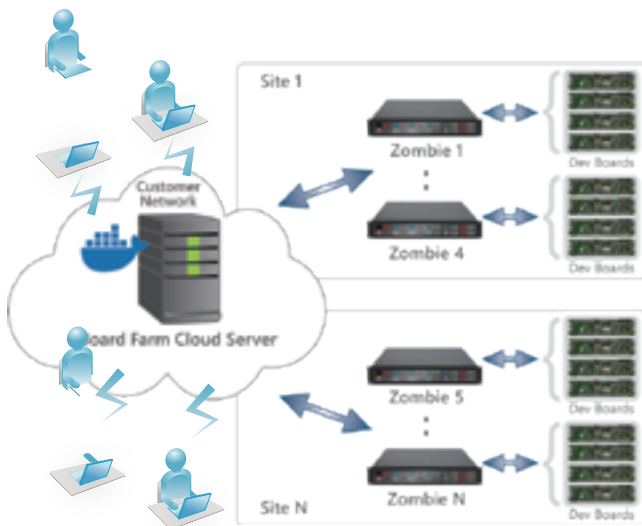
Embedded Board Farm

ネットワークを介してリモートからボードデバッグが可能

お客様開発ボードは、Zombie を経由して Embedded Board Farm サーバと接続されます。

プロジェクト初期段階では開発ボード数が限られ、デバッグとテストには制約がともないます。開発チームメンバーが、遠隔地に、あるいは同じビル内の異なるフロアに分散するといったケースもあり、開発スケジュールの最適化には多くの課題がともないます。

Embedded Board Farm は、これらの制約を解消し、開発コストの削減、製品の市場投入までの時間の短縮を可能にします。



Embedded Board Farm

Embedded Board Farm リモートでログインすると：

- ネットワークを介してリモートからボードデバッグが可能
開発ボードを外に出すことは不要
リモートにいながらローカルボードと同じような感覚で開発やデバッグが可能
- 共有テストリソースへ複数ユーザーでアクセスが可能
開発やデバッグの状況を共有可能
開発コストとスケジュールを最小化
- BF Dashboard で集中管理
開発ボード群、アクセスユーザー、テストの実行などを一元管理



Zombie

Zombie は、専用インターフェース機器として Timesys がデザインしています。

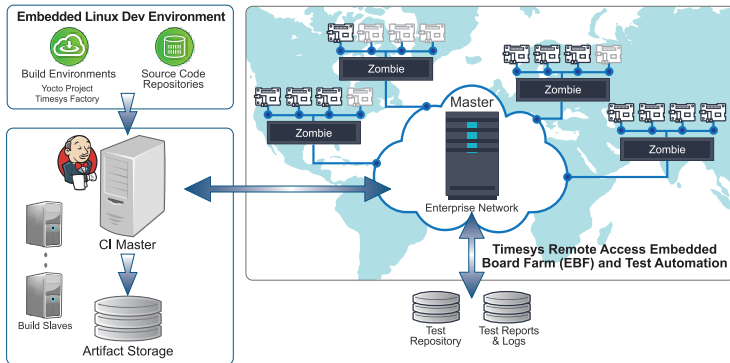
お客様ボードの電源 ON/OFF、SD カードエミュレータの SDMUX を用いた SD カードの書き換えなどをボードに触れることなくリモートで実行できます。複数の開発拠点から同じボードにアクセスできるという特徴は、これまでの開発手法を大きく変えるとともに開発における時間とコストの削減に大きく寄与します。

Zombie 1 台に最大 4 ボード（同一、異機種を問わず）接続でき、機器の開発状況やテストの目的などによって様々な使い方が可能です。

Test Automation Solution

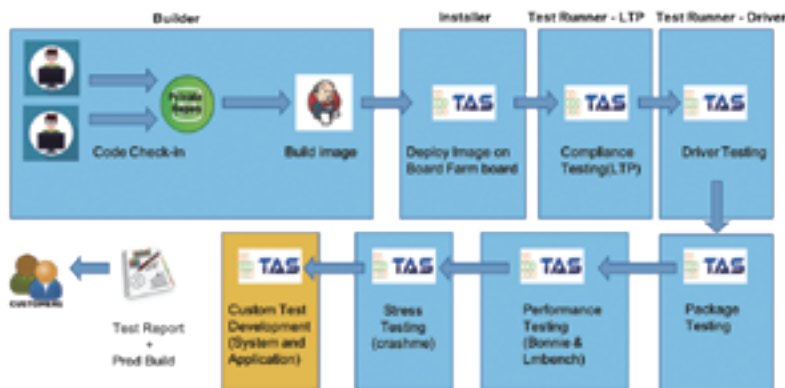
Test Automation Solution

テストの自動化には、これまで Timesys/Lineo が培ってきたオープンソースソフトウェア開発の経験と実績が強く反映しています。テストツールとしてオープンソースソフトウェアを活用するとともに、お客様の開発環境と容易な連携を可能にしています。



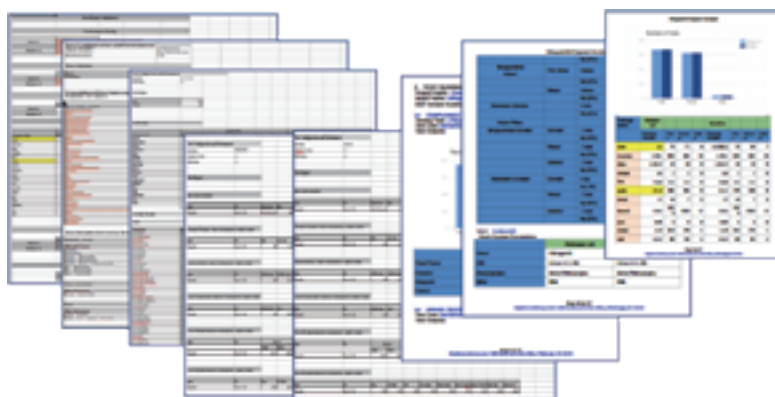
Test Automation Solution では：

- 継続的インテグレーションシステムスケジューリングソフトウェアが、定められた方法通りにビルド
- 自動化されたテストフレームワークの実行
- Timesys テストチームによる カスタムテストの生成も可能
- お客様ボードで様々なシステムテストやカスタムテストの実行



テスト項目

- LTP
- ドライバ
- パッケージ
- パフォーマンス
- ストレス
- カスタム (お客様作成のテスト)



テストの実行結果はレポートとして出力されます。多様なフォーマットで出力されるレポートにより、開発の進捗度とその品質、バグ修正の管理などを容易に確認できます。

リネオは お客様の これリな を後押し